

「ウッドハウス金ヶ崎の家 岡本様邸」 直接インタビューのレポートです (2008/02/01 実施)

日置社長が、岡本様の奥様に直接インタビューいたしました。お引渡しから約2ヶ月。お客様の生の声をお聞きください。

Q インタビュアー 日置社長

A 回答者 明石市 岡本様

日置 : 「家を建てようと思ったきっかけは何でしたか？」

岡本様 : 「築30年の木造住宅でしたが寒かったので、
『とにかく寒くない家』で建て替えかリフォームを考えていました。」

日置 : 「弊社をお知りになったきっかけは何ですか？」

岡本様 : 「『体に悪い家は造れない』という思いが強く、
本を読んだり借りたり、いろんな所に見学や勉強に行っていました。
そんな時、たまたま日置建設さんの現場見学会を見に行きました。」

日置 : 「弊社に決定する際、最後の決め手になったのは何でしたか？」

岡本様 : 「社長の人柄です。信頼関係が一番ですから。
質問を突っ込むとあいまいにされる他社もありましたが、
日置社長はきちんと答えてくれて、すごく勉強しているのがわかるからです。
でも、うっとうしいくらい営業に来られる他社に比べて、
日置社長はあまり売り込みに来られないというより…来ないし…
『まっ、それもいいのかな?』と思いましたけど(笑)
あとは地元であることと、ウッドハウスをきちんと建ててくれそうだったからです。」

日置 : 「ご主人がこだわった部分はどこですか？」

岡本様 : 「書籍がたくさんあるので本箱及び小屋裏の収納部分です。
たくさんある書籍を1/3は処分しましたが、それでも、2,000冊は運びました。」
(奥様曰く、小屋裏にいるときのご主人様はすごくうれしそうとか。)

日置 : 「奥様がこだわった部分はどこですか？」

岡本様 : 「寒さには強いほうでしたが、それでも、年々寒さに弱くなってきていたので断熱材の性能です。
あと、キッチンとリビングにこだわりました。」

日置 : 「打ち合わせ時点で苦労したことはありましたか？」

岡本様 : 「特にないです。予算を含めて、打ち合わせがしっかりしていて、
回数も多く設定してもらったので楽しかったです。」

日置 : 「施工をしている最中、感じたことがあれば教えてください。」

岡本様 : 「同じ敷地内で、出来上がっていく様がよくわかっておもしろかったです。
飾り棚やニッチの高さを大工さんに聞いたり相談できてよかったです。」

日置 : 「出来あがりはいかがでしたか？」

岡本様 : 「期待通りと言うより、それ以上でした。生活するのが嬉しくなってきます。」

日置 : 「住み心地はいかがですか？」

岡本様 : 「快適です。でも、気密断熱性が高いので、リビング階段を通して音が2階へもあがってしまいます。
先日の、すごく冷えた日は、暖吉くん(蓄熱暖房器)5KW、1台だけでは寒くて、
補助として少しエアコンをつけました。でも、エアコンは嫌いで、この暖吉くんをつけてよかった。
それと、2階に寝ていますが、暖房は1階に暖吉くん(5KW)1台だけなのに、真冬でも薄い布団で寝ています。」

日置 : 「最後にお気づきの点がございましたらお聞かせください。」

岡本様 : 「床の暖かさが前の家とは全く違い、足元が冷たくなく、部屋ごとの温度差がないので、今までと生活が変わりました。
木の節が多くて気になる方もおられますが、私は“木”が好きなので別荘みたいで大変よろこんでいます。」

日置 : インタビューを終えて、これだけよろこんで頂き、大変うれしく思い感謝します。ありがとうございました。



インタビューの様子です



小屋裏に書籍を収納



ご家族そろって記念写真